

平成23年5月24日

## 福知山FM放送 第20回番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成23年5月24日（火）午後6時～

2. 場所 京都府福知山旭が丘111番地  
北関西IITメディアセンター福知山2F セミナールーム

3. 出席状況 総委員数 7名  
出席委員数 4名  
出席委員の氏名 松田 規 委員  
香月 芳雄 委員  
藤田 佳宏 委員  
藤原 公子 委員

放送事業者側出席者名

代表取締役社長 松井喜久夫  
局長補佐 水寫孝彦

4. 議 題 1) 福知山FM放送局概況報告  
2) 放送番組全般に対するご意見  
3) 次回番組審議会の開催日時について  
4) その他

5. 議事の概況

- 1) 代表取締役社長 松井喜久夫より、前回審議会以降の概況報告が行われた。
- 2) 各委員より放送番組全般に対する意見が出され、それぞれ代表取締役社長松井喜久夫が答申した。
- 3) 次回番組審議会の開催日時について協議がなされた。
- 4) その他、代表取締役社長松井喜久夫より今後の放送展開についての説明が行われた。

6. 審議の内容

- 1) 福知山FM放送局概況報告  
代表取締役社長松井喜久夫より前回審議会以降の概況報告が行われた。

・福知山市議会議員選挙特別番組について

4月24日（日）合併後初の1選挙区での福知山市議会議員選挙開票場からの生中継で得票数をいち早く伝えることができた。

番組自体も新聞で告知いただくなど注目を頂き認知度も高まった。電波が届かないので何とかしてほしいとの苦情も出ていた。

・東日本大震災被災地調査について

5月12日（日）宮城県へ被災地調査・技術支援（宮城県）

コミュニティFM放送として被災地の臨時災害局へサイマル放送などの技術的支援、人的支援、物的支援ができないか、3局を訪問し実態調査。放送でも3回の中継を入れて現地の様子を伝えた。

要請があればインターネット・パソコン設定等、今後も現地へ足を運びたい。

・桃映中学校職場体験学習について

5月19日・20日

桃映中学校3名の男子生徒が職場体験学習。

生放送でニュース・天気予報の読み上げ体験。

実際に取材に出るのインタビュー収録をもとに1コーナーを生放送。

・ぬいぐるみ支援について

5月21日（土）被災地避難所の子供達へぬいぐるみを送付

12日の被災地の調査で現地を訪問した際、親や友達を亡くした子供たちにとって、ぬいぐるみが心を落ち着かせているという話を聞いた。

26日に現地の仲介者から子供たちへ手渡す予定

2) 放送番組全般に対するご意見

松田委員長の議事進行のもと、各委員が前回審議会以降の放送番組全般に対する意見を述べた。

出された意見及びその答申は以下の通り

(委員) 被災地の情報伝達手段としてツイッターなども効果があったときいている。

このたびの震災を受けて、福知山市がまた防災計画を見直すことになるであろうから、その時にはコミュニティFMの位置づけをしっかりとしていただきたい。

(事務局) ツイッターなど周辺部では確かに有効だが、インターネット環境も電話も繋がらなくなった時、やはりアマチュア無線などでの情報伝達になるのでは。発生した直後、復旧してきた時点など1次的・2次的にいくつかレベルに分けて防災マニュアルを作る必要があると思う。

業務無線やアマチュア無線については福知山マラソン特別番組などでエリアを確認し、いざとうときの備えを行っている。

(委員) 先日とある役員会で、東日本大震災を受けて防災の話になり、地域のコミュニティFMの話題も出て認識を深めていただくことになった。

(委員) リスナーはラジオを聴いて情報を知りたいという気持ちが基本となっている。災害時に情報をどう確保して放送していくのが大変重要。同時に番組の質の向上にもつながる話だと思う。

3) 次回番組審議会の開催日時について

松田委員長の議事進行のもと、次回番組審議会の開催日時について協議した結果、平成23年7月26日(火)に決定した。

4) その他

代表取締役社長松井喜久夫より、今後の放送における展開について説明が行われた。松田委員長が閉会にあたっての挨拶を行い、第20回番組審議会を閉会した。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった措置

特になし

8. 審議機関の答申または意見の概要の公表

事務所に備置き	平成23年	6月	1日
ホームページに掲載	平成23年	6月	2日

9. その他

特になし